

パイン#7010MIO

1. 系統 二液性ポリアミドアミン硬化型エポキシ樹脂系MIO塗料
2. 特徴
- 1) MIO（雲母状酸化鉄）効果で、層間付着性に優れる。
 - 2) 耐薬品性・耐水性・耐海水性に優れる。
 - 3) エアレス塗装、刷毛塗時の塗作業性に優れる。
3. 用途
- 1) エポキシ仕様の長期インターバル（塗装間隔）設定用塗料。

4. 塗料性状

項目		内容			
容 姿		2液性			
荷 姿		20kg セット			
色 相		シルバーグレー			
光 沢		つや消し			
密度 (23℃)	塗料	1.59 (主剤・硬化剤混合物の標準)			
	揮発分	0.87			
加熱 残 分		73wt%			
乾燥時間	温 度	5℃	10℃	20℃	30℃
	指 触	60分	50分	30分	20分
	半硬化	24時間	18時間	8時間	6時間
標準膜厚		50μm			
引 火 点		SDS参照			
発 火 点		SDS参照			
爆発限界(下限~上限)		SDS参照			
貯蔵安定期間(20℃)		12ヶ月			

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

6. 施工上の注意

- (1) 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合で混合し、十分に攪拌し均一な状態で熟成し、再度攪拌して塗装する。混合後は硬化反応が進行するので、可使時間以内に使いきる。
- (2) 被塗面の油脂、湿気、じんあいなどの有害な付着物は完全に除去する。
- (3) 希釈にはパイン#7000溶剤を使用し、規定した希釈率の範囲内で希釈する。
- (4) 使用量、膜厚は標準的な目安を示すものであり、被塗物の形状、塗装方法などの条件により変動する。
- (5) エアレススプレー塗装の場合は塗料を60~80メッシュの金網でろ過する。
- (6) 刷毛塗では、1回塗りで50μmが確保できない場合があります。その場合は、塗り回数を増やすなどで対応する。
- (7) 気温が低いと、硬化反応速度が遅くなるので、塗装間隔を十分にとって次工程に進む。
- (8) 取扱い上の注意事項などの詳細説明は、別途「SDS」に記載していますので参照ください。

5. 塗装基準

項目		内容			
下 地 処 理		-			
調 合 法		主剤：90部、硬化剤：10部（重量比）			
熟 成 時 間		約30分（20℃）			
可 使 時 間	5℃	10℃	20℃	30℃	
	24時間	18時間	8時間	6時間	
塗 装 方 法		エアレス塗装、刷毛塗り			
使用シンナー		パイン#7000溶剤			
塗 装 方 法	塗 装 方 法	エアレス塗装		刷毛塗り	
	希 釈 率	0~5wt%		0~5wt%	
	標準使用量	0.25kg/m ²		0.20kg/m ²	
	標準膜厚	50μm		50μm	
	1μm管理膜厚	100μm		100μm	
エアレス塗装条件		1次圧 0.4MPa(4kg/cm ²)以上 2次圧 12MPa(120kg/cm ²)以上 チップ No.163-519~721			
塗 装 間 隔	温 度	5℃	10℃	20℃	30℃
	最 小	48時間	40時間	24時間	16時間
	最 大	18ヶ月			

7. 適合する塗料

下塗：パイン#7010、パイン#7010TS 他
上塗：パイン#7020H、パイン#7130 他

8. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第4類第2石油類	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有	第2種有機溶剤含有
有害物質表示	キシレン、エチルベンゼン、トルエン、メチルイソブチルケトン	キシレン、エチルベンゼン、イソブチルアルコール、n-ブタノール
劇物表示	-	-
エポキシ樹脂表示 硬化剤表示	エポキシ樹脂	ポリアミドポリアミン

9. 使用上の注意【警告】

- (1) 引火性の液体である。
- (2) 有機溶剤中毒の恐れがある。
- (3) 健康に有害な物質を含有している。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。

中電工業株式会社 工事部（塗料担当）

〒734-0001 広島市南区出汐2丁目3番29号 Tel:082-255-2131 Fax:082-255-2251